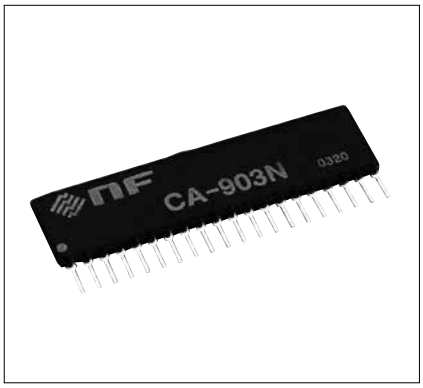
バイナリラッチアダプタ

CA-903N



CA-903Nは、プログラマブルゲインアンプCA-206L2および差動増幅器CA-406L2と組合わせることにより、利得設定をバイナリコードで行えるばかりでなく、ラッチ機能を持たせることも可能にするアダプタです。
ラッチ制御入力端子を開放または+5Vにすると、利得設定バイナリコード入力がスルーとなり、負論理のレベル信号で利得設定可能となります。ラッチ機能を働かせるときはラッチ制御入力を0Vにします。0Vになるエッジで利得設定バイナリコード入力の情報がラッチされます。
CA-206L2、CA-406L2との接続は同一ピン番号の8本にて行い、電源も供給されます。

▼絶対定格

電源電圧(+Vs)	+5.5V
制御電圧	+5.5V、−0.5V

▼入出力特性(真理値表)

利得	入力 $\overline{G}$	$\overline{C}$	$\overline{B}$	$\overline{A}$	出力 $\overline{1}$	$\overline{2}$	$\overline{5}$	$\overline{10}$	$\overline{\times1}$	$\overline{\times10}$	機能
1	H	H	H	H	L	H	H	H	L	H	—
2	H	H	H	L	H	L	H	H	L	H	—
5	H	H	L	H	H	H	L	H	L	H	—
10	H	H	L	L	H	H	H	L	L	H	—
20	H	L	H	H	H	L	H	H	H	L	—
50	H	L	H	L	H	H	L	H	H	L	—
100	H	L	L	H	H	H	H	L	H	L	—
100	H	L	L	L	H	H	H	L	H	L	—
	L	×	×	×	Gの立ち下がりでデータはラッチされます						ラッチ

レベル	TTL、CMOS負論理
入力処理	100kΩにて+5Vに内部でプルアップ
ラッチ機能	トリガ端子⑰を開放またはHiにすると、制御入力の変化がそのまま出力に現れ、Loにすると、その立ち下がりの時点の制御入力の情報がラッチされます。

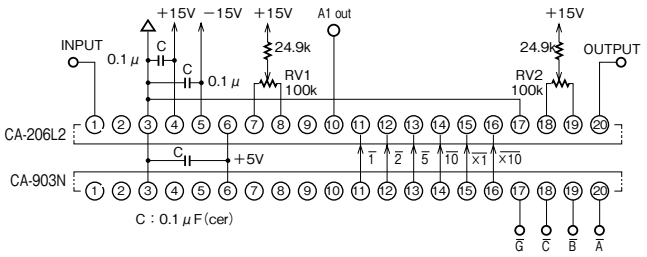
▼その他

電源電圧		+5V ±10%
消費電流		150μA(typ) 1mA(max)
温湿度範囲	動作	−20℃〜70℃ 10%〜95%RH
	保存	−30℃〜80℃ 10%〜80%RH
外形寸法		51.5×14×4.0mm、S20型

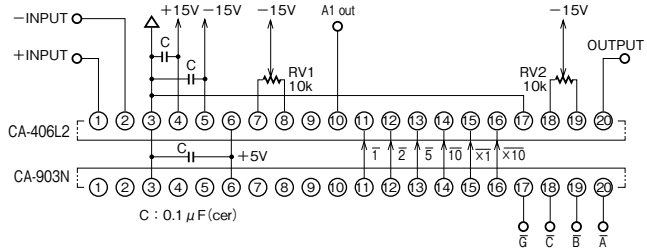
注) 特記なき場合は、23℃±5℃、Vs=±15V

基本接続図

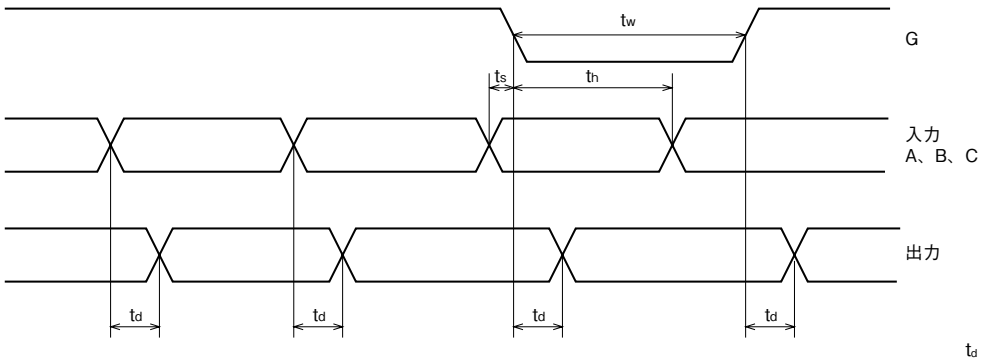
CA−206L2との組合せ



CA−406L2との組合せ



■制御信号タイミング図



t_d： セットアップ遅延時間 850ns 以内
t_s： 最小セットアップ時間 50ns 以上
t_h： 最小ホールド時間 50ns 以上
t_w： 最小パルス幅 150ns 以上